

NICE SMILE

りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 ● 院外・院内広報

発行・責任者：広報誌編集委員会委員長 永井 義幸 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL072-469-3111 (代) FAX072-469-7929
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/

2010
冬
VOL.52



2階フロア(正面玄関より)

今回の新型インフルエンザについて

副病院長兼感染症センター長 玉置 俊治

昨年四月二十五日、これから連休に入ろうかという土曜日でした。メキシコとアメリカで豚由来の新型インフルエンザが流行しているため検疫体制を強化する必要がある、これからの帰国者でインフルエンザ症状の人がおれば検疫所で迅速検査を行いA型であれば疑似症として当院感染症センターに収容してほしいとの連絡を関西空港検疫所から受けました。それまで、鳥インフルエンザH5N1が新型インフルエンザに変化し、ヒトヒト感染を起こしたときの対応、水際作戦について大阪府の対策協議会で議論もし、大阪府や検疫所とともに訓練を繰り返してきました。豚由来という予想外のウィルスでしたが、急に現実のものとなったわけです。アメリカからの直行便が関西空港に着くたびに緊張の毎日が続きましたが、感染症センターでは二名(疑似例一、確定例一)の患者さんを収容したのみでした。五月十六日、十七日に神戸と大阪で渡航歴のない高校生、中学生の集団発生があり、六月十二日にはWHOがフェーズ六宣言、そして六月十九日には検疫体制が変更になり軽症の患者さんは自宅療養でよいとのことになりました。フェーズ六宣言の後、我が国は夏に入ったこともあって、一時新型インフルエンザは収束したかと思いましたが、夏の終わりから、小中学生、高校生を中心に増加してきています。

新型インフルエンザはほとんどの人が免疫を持たないため、この冬はかなりの大流行になりました。鳥インフルエンザの様な致死率が高いものが予想されていただけに、今回の豚由来新型インフルエンザはかなり病原性が弱そうという安心しきった声も聞かれますが、なかなかそうともいえません。致死率は季節性とあまり変わらないようですが、大きく違う点は、季節性インフルエンザでは亡くなっているのはほとんどが高齢者ですが、今回の新型インフルエンザでは基礎疾患のない若い人や妊婦が重症になり、亡くなっているということです。多くの死因はインフルエンザ肺炎で、季節性の場合混合感染や基礎疾患で亡くなっているのと対照的です。頻度は低いです、元気な若者の命を突然奪う可能性のあるインフルエンザに対して、従来の季節性とは違った心構えが必要です。幸い抗ウイルス剤のタミフルやリレンザは早期に使えば有効です。

今までの大流行と違って、私たちに感染症学の知識や、抗ウイルス剤やワクチンがあります。これらをどのように利用して被害を最小限に食い止めるかは、政府、自治体の方針や私たち医療者の努力にかかっています。

CONTENTS

表紙写真:「2階フロア(正面玄関より)」…………… 1

玉置 俊治「今回の新型インフルエンザについて」

2Fフロア案内…………… 2・3

初再診受付 / 証明係・入院受付 / 会計窓口 / 薬剤科 / 図書コーナー / 総合案内 / 外来ブロック受付 / 健康管理センター / 地域医療連携室 / MSW / がん支援センター

クリスマスコンサート…………… 4

お知らせ / 人権標語 / 編集後記



初再診受付

患者様が受診される際、初めに対応させていただきますのが初再診受付です。初診・再診・他院紹介の受付、保険証確認等を行っています。安心して受診していただけるよう相談や案内もさせていただきます。



証明係・入退院受付

各種証明、診断書等の受付を行っています。お預かりした書類を各医師に依頼し、出来上がった書類を患者様にお渡ししています。できるだけ速くお渡しできるよう努めます。予約入院の案内(書類説明)や、入院当日の受付、退院精算等の他、患者様への入院連絡、入院日の変更等の受付も行っています。患者様の不安を少しでも和らげるよう対応させていただきます。



外来ブロック受付

A~Jの中でCブロック(内科ブロック)は診察室が9診あり、受付では多数おられる予約患者様の検査案内や電話の問い合わせ等の業務を行っています。各科診療が円滑に進行するよう努めています。



健康管理センター

2階の病院玄関から入って一番奥に位置する健康管理センターでは、午前中に人間ドック・健康診断を行っており、それ以外に女性外来、国際外来の診察もしています。全スタッフ女性の明るい職場です。



会計窓口

診療にかかる費用を計算し、ご請求する窓口です。患者様から頂戴する医療費なので間違いのないよう、慎重に対応しています。ご不明な点はわかりやすく説明・案内するよう心がけています。



薬剤科

- 院外処方箋FAXコーナー
院外処方箋を、かかりつけ調剤薬局にFAXすることにより、薬局での待ち時間を短縮しています。また、本年より自動FAX送信機を導入し、かかりつけ薬局のカードで簡単にFAXできるようになりました。
- 持参薬鑑別コーナー
入院中に持参したお薬を安心して使用していただけるように、鑑別業務を行っています。薬品名や用法、用量を調査し、病院オーダリングシステムに入力して医師、看護師等が参照できるようにしています。

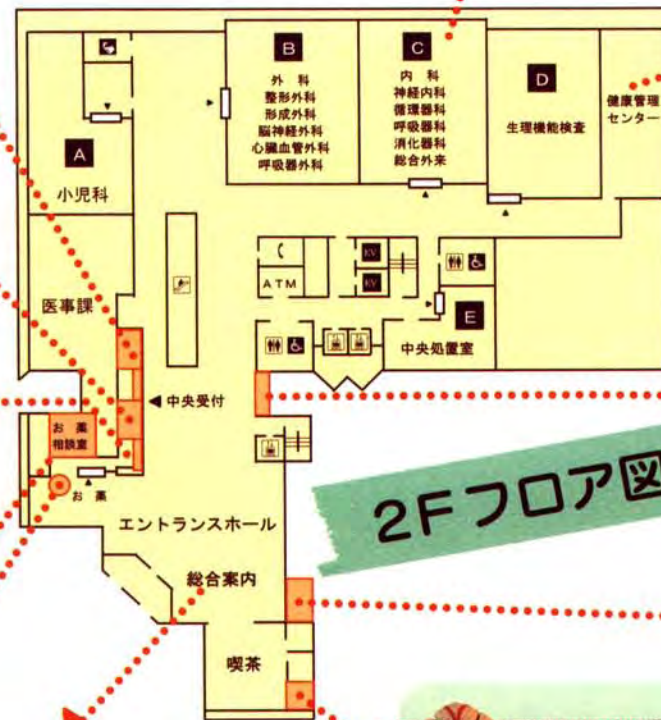


図書コーナー



総合案内

2階正面玄関入って真正面のカウンターで院内のご案内の他、診療科のご案内、駐車場代の割引手続きなどを行っています。病院の顔として、患者様への気配りを忘れないよう努めます。ご不明な点があれば、いつでもお声がけ下さい。



2Fフロア図

MSW

病気や怪我により起こる不安や悩み、例えば、医療費、家族や仕事、転院、退院後の生活の準備等...これらの問題解決に医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場からご相談をお受けします。相談内容についての秘密は厳守されますのでご安心ください。



地域医療連携室(4階)

地域医療連携室は、病院内と病院外の窓口としての役割を担っています。主な業務は地域のかかりつけ医の先生方からの紹介依頼(外来・入院・検査)の予約業務です。その他に、かかりつけ医の先生のご紹介やさまざまな広報活動も行っています。また、毎月(8月・12月以外)第3土曜日には、市民健康講座を開催しています。申込不要、参加無料です。ぜひ一度、ご参加ください。



がん支援センター

がん拠点病院として、質の高いがん医療サービスを提供するために設置され、がんを主として病気に関する不安や悩みのご相談に看護師またはソーシャルワーカーが対応します。患者さん・ご家族の方、気軽にお寄りください。





第11回りんくうクリスマスコンサート

The 11th Rinku Christmas Concert

増田 紀子

今回のクリスマスコンサートは、進行役を行なわせて頂きました。このコンサートは私がこちらに就職する前から継続され、11回目(11年)継続されているものです。これは、毎年ボランティアで演奏して下さっている方(久保由佳子さんといいます)あって成り立っています。改めてコンサートの意義など見てみますと、「入院・通院患者様と看護師等の癒しと励ましと地域住民との交流のコンサート」とされています。しかし、実際は病院職員全体で会場準備、患者様の搬送、コンサート中の気配り、目配り、後片付けが精一杯で、職員が一緒に楽しむことは考えていなかったと思います。しかし、今年は産科センター長の荻田先生のジャズピアノの演奏が加わり、地域住民の参加が多かったこと、最後まで聞かれた患者様が多く演奏途中での移動が少なかったことで、当院の職員も一緒に楽しめたのではないかと思います。まさに、前半のフルートとクラリネットの演奏は「癒し」、後半の荻田先生のピアノは「励まし」の演奏となり、地域住民、入院・通院患者様、当院職員の心に届いたクリスマスコンサートでした。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。新型インフルエンザに振り回された2009年、対策作りに目の回るような一年がすぎました。今年2010年、新年から相変わらずの新型インフルエンザ騒動は続き、暗澹たる年明けとなりました。しかし、人類の歴史において、「細菌」「ウイルス」との戦いは連綿と続いている戦いです。負ける訳にはいきません。しっかりと予防に努め、冷静に対処していくことが大切です。まだまだインフルエンザとの闘いは終わりが見えませんが、春はそこまできています。今年も市立泉佐野病院は総長、院長を中心に理念に向かって職員が一丸となり、頑張っていく決意です。忙しさの中、ふっと立ち止まり、あったかくて、平和な春を感じていきたいと思えます。本年もよろしくお祈りします。

看護局 甲斐 美智子

～お産されるみなさまへ～

産科病棟では、4月より母子同室制となります。また3月にお産の方も母子異室を希望されない限り同室となります。



母子同室とは？……お母さんと赤ちゃんが24時間一緒に部屋で過ごすシステムです。

★赤ちゃんの様子がよくわかる ★赤ちゃんのお世話に慣れやすい
★いつでもおっぱいがあげられ母乳の出がよくなる…などメリットがたくさんです！
いつから一緒？……小児科医師による赤ちゃんの診察終了後、母子ともに異常なければ、同室開始となります。シャワーなどで不在になられる時はお預かりいたします。

♡慣れないうちは大変ですが赤ちゃんの日々の変化はダイナミックです♡
♡是非、楽しんでください♡



～産科病棟へ入院されるみなさまへ～



産科病棟では、インフルエンザの流行に伴い、お母さんと赤ちゃんの安静と安全を守るために面会制限を設けましたのでお知らせいたします。お産や緊急の手術等、重なることも多い病棟です。病棟の状況によっては迅速な対応が不可能なこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

- | | |
|---|---|
| 1. お母さんの面会について
面会時間 平日 15時～20時
土日 12時～20時 | 原則赤ちゃんのお父さんのみです。ご両親や、お子様、御兄弟、御親戚、御友人は病棟内に入るとの面会はできません。赤ちゃんのお父さんは面会時間内であれば病棟、病室に入って面会していただけます。赤ちゃんのお父さん以外の方は面会時間内に、6階エレベーター裏ティールームなどでお母さんに面会が出来ます。体調不良(風邪等)の方は面会をお控え下さい。 |
| 2. 赤ちゃんの面会(予約制)
面会時間 15時～17時 | 15時から17時の間で赤ちゃんの祖父母様に限って新生児室面会コーナーからのガラス越しの面会をして頂けます。但しお子様や御兄弟、御親戚、御友人は面会できません。面会にお越しの際は予め来院される日時を、来院される日の12時～14時までにお知らせください。 |
| 3. 退院時のお迎えについて | お迎えの方は、6階エレベーター裏のティールームにてお待ちください。荷物等がたくさんある場合は、7フロアをお貸ししますので、ナースステーションにお申し出ください。 |
| 4. 分娩時の付き添いについて
(分娩の立会いは、ご主人だけです) | お産のときにサポートして頂けるのは、赤ちゃんのお父さんと、お産されるお母さんの近親者(ご両親、ご姉妹など)に限ります。(分娩室への入室は1人です)お子様は時間内であっても病棟内に入れませんのでご注意ください |
| 5. 婦人科の入院の方 | 患者さんの近親者1名に限って病棟内に入って面会時間内に面会できます。それ以外の方は、面会時間内に6階エレベーター裏のティールームで面会してください。 |

子供さんについては、来院時、入院中いかなる時も病棟内には入れませんのでご注意ください。

泉州広域母子医療センター(6階山側病棟)



人権標語

人権はみんなが
持つもの 守るもの